

反対の立場から討論いたします。

今回、町長が財源確保策として自らの身を削る給与削減の議案を提出された気持ちは理解しますし、その思いは汲みたいと思います。

そして、以前から「日本に寄付の文化を浸透させたい」という崇高な思いを持たれていることも存じています。

私自身は、個人としてこのように理解を示すことはできますが、しかし、この議案が議場を出た後の世間の受け取り方はどうかと考えます。

今年度はこれ以前に、減収補填債の起債もありました。

その上で財源確保のために町長報酬のカット、というニュースが流れれば、開成町の財政が厳しいらしいという話が巷間ささやかれる、可能性が高いと考えています。

そして、それは行政サービスの低下を想像させることで、潜在的な移住希望者の検討見送りなどにつながりかねないのではないのでしょうか。

つまりカットされるのは年間250万円程度ですが、それを遥かに上回る風評被害が起きるのではないかと懸念します。

そしてもう一つ、250万カットするよりも、300万稼いでくるよ、と宣言された方が「もっと行くぜ！開成」を掲げられた山神町長らしいと思いますし、寄付された先の意向とすることで、意図する事業に使うことも可能ではないかと思えます。

そして最後に、山神町長の報酬は税の有効活用です。

以上の理由から議案に反対いたします。